

小学校高学年

～災害を防ぐ行政の取組
（公助について）～
発問計画

2時限目用

発問計画・学習教材

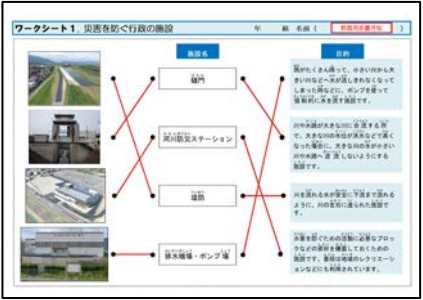



2. 災害を防ぐ行政の取組(公助について)

本時のねらい(目標)

水害からわたしたちの命や生活を守るために、市や県、国が様々な工夫(ハード・ソフト対策)をしていることを理解し、各取り組みの目的を知る。

※指導計画の「 」は、予想される児童の発言(児童に伝えたい発言)を示す。

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
導入 (5分)	<p>1. 河川施設への関心を引き出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>発問： 水害から命や生活を守るために、この地域では、どんな取り組み・工夫がされているでしょうか</p> </div> <p>(資料1～3の順で提示する)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>発問： これは何のための施設でしょう？</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・避難所？ ・資料館？ など</p> </div> <p>(資料4を提示する)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>解説： これは河川防災ステーションという河川施設です。水害を防ぐための活動に必要な資材を備蓄しておくための施設です。普段は地域のレクリエーションなどにも利用されています。</p> <p>このような、地域を水害から守るための施設や取り組みについて学んでいきましょう。</p> </div>	<p>・まず施設の一部を見せ、「これはなんだろう」という関心を持たせる。</p>	<p>【資料1】施設のある位置(河川・水路・身近な町や小学校との位置関係等)</p>  <p>【資料2】施設の一部を拡大した写真(あるいは遠方から見た写真)</p>  <p>【資料3】施設全体を見せる写真</p>  <p>【資料4】回答を見せるスライド</p> 

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
<p>展開 前段 (10分)</p> <p>一斉</p>	<p>2. 市や県、国など、公の機関が、ハード整備により水害を防ぐ取り組み（公助）をしていることを知る。</p> <p>発問： ワークシートに、代表的な4つの河川施設があります。この施設の名前（固有名詞ではない）と、目的を結びつけてみましょう。</p> <p>※ワーク： ・施設写真・施設名（固有名詞ではない）・目的を結びつけ（一斉） ・一斉に答え合わせ</p> <p>発問： では、それぞれの河川施設は誰が作ったものでしょう？（行政機関カードを写真と並べる）</p> <p>解説： このように、市・県・国がそれぞれ管理する川や地域で、河川施設をつくり、管理をすることで、水害がなるべく起こらないように、あるいは被害が大きくなるようにしています。 このように、施設をつくって水害がなるべく起きないように、あるいはできるだけ被害が小さくなるようにする対策を「ハード対策」といいます。</p>	<p>・身近な河川等には、水害を防ぐための様々な河川施設があることに気づかせる。</p> <p>・河川施設は、市や県、国など様々な機関の人が分担して整備していることに気付くように助言する。</p> <p>・ハード対策（治水施設）で完全に水害が起こらないようにすることはできないので、「施設を作って管理されていれば安全」という認識にならないように留意する。</p>	<p>【ワークシート1】施設写真・施設名・目的をつなぐ</p>  <p>【資料5】施設写真と行政カードを並べながら答え合わせ</p> 
<p>展開 後段 (20分)</p> <p>一斉</p>	<p>3. 市や県、国など、公の機関が、ソフト対策により水害を防ぐ取り組み（公助）をしていることを知る。</p> <p>発問： 次のワークシートには、洪水がおきそうになったときに、できるだけ浸水被害がおきないようにする、あるいは被害が大きくなるようにするために、施設を作ること以外に取り組んでいることが書いてあります。この取組の名前・目的を結びつけてみましょう。</p> <p>※ワーク： ・取組のイメージ写真・取組名（固有名詞ではない）・目的を結びつけ（一斉） ・一斉に答え合わせ</p> <p>発問： では、それぞれの取組は誰が実施しているのでしょうか？（行政機関カードを写真と並べる）</p>	<p>・施設の管理などの「ハード対策」だけでなく、「ソフト対策」を行っていることを伝える。</p>	<p>【ワークシート2】取組写真（河川パトロール・排水施設操作・ハザードマップ）・取組名・目的をつなぐ</p>  <p>【資料6】取組写真と行政カードを並べながら答え合わせ</p> 

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
	<p>解説： ハード対策と同じように、市・県・国が、分担して実施していること（河川パトロールや施設操作）もあれば、水防活動のように、協力・連携して実施していることもあります。 このような取り組みはハード対策でつくった施設を管理・活用するための取り組みで、「ソフト対策」といいます。</p> <p>発問： 今度のワークシートには避難に関わる取り組みが書かれています。この取組の名前・目的を結びつけてみましょう。</p> <p>※ワーク： ・取組のイメージ写真・取組名（固有名詞ではない）・目的を結びつけ（一斉） ・一斉に答え合わせ</p> <p>発問： では、それぞれの取組は誰が実施しているでしょう？（行政機関カードを写真と並べる）</p> <p>解説： ハード対策で、水害を防ぐことができる場合もありますが、施設が防ぐことのできる規模よりも多く雨が降ったときなどは、施設が壊れたり機能できなくなる可能性もあります。そのため、私たちは、自分の命は自分で守るために、安全な避難をしなければいけません。 その避難を支援するために、国・県・市が連携・協力して、このような取り組みを行っています。</p>	<p>・避難についてのソフト対策は、市町だけでなく、国・県も「連携・協力」して取り組んでいる。</p>	<p>【ワークシート3】取組写真（避難伝達・避難所・水防工法・小規模排水施設操作）・取組名・目的をつなぐ</p>  <p>【資料7】取組写真と行政カードを並べながら答え合わせ</p> 
<p>終末 (10分)</p>	<p>4. 学習のまとめをする。</p> <p>学習のまとめ 市・県・国などが実施している水害に備える取組を「公助」といいます。 また、それらの取り組みに協力する地域の人々がいます。「水防団」については次回の授業でみていきましょう。</p>	<p>・学習でわかったこと、考えたこと想起し、ワークシート等に記入できるように助言する。</p>	<p>【ワークシート4】</p> 

授業のポイント

「公助」としての国土交通省、岐阜県、各自治体の取り組みはハード対策とソフト対策がある。